

# 核抑止論「道理に反する」

## ファン・ラモン・デラフエンテ議長に聞く

核兵器禁止条約の第2回締約国会議で議長を務めるメキシコのファン・ラモン・デラフエンテ前国連大使が27日の開幕に合わせて、中国新聞の質問に書面で答えた。条約の着実な履行を支えるのが議長の仕事だと強調し、核抑止論は「道理に反している」と強く否定した。1面関連。

(ニューヨーク宮野史康)



ファン・ラモン・デラフエンテ氏(国連提供)

「会議では、どんな成果を上げたいですか。条約が適正に機能し、会議のプロセスが今後も適切に続いていくように導きたい。条約の履行と締約国の拡大を重視している。核兵器を禁止する

## 核兵器禁止条約

第2回締約国会議

理由は、壊滅的な人道上の結末を引き起こす点にあるとも伝えたい。議論の実質的な成果は政治宣言で示す。複雑な国際安全保障の現状を踏まえた明確なメッセージを打ち出したい。

世界で核抑止論を重視する動きがあります。確かに近年の情勢は国際的緊張を高めているが、残念ながら何十年も前から核兵器使用の危険性は変わっていない。核兵器武装国は、有意には備蓄を減らさず、むしろ

強化し、近代化してきた。こうした現状と、核兵器による人道に背く結末が、禁止条約への加盟を促している。

世界の大半の国は、核兵器を持たず、誤った抑止論に依存していない。

禁止条約への加盟は自然の成り行きだ。人類の破壊や環境破壊を伴う安全保障と抑止論があり得るのか。道理に反している。としか言いようがない。

「日本政府のオプザーパー参加見送りの受け止めは、

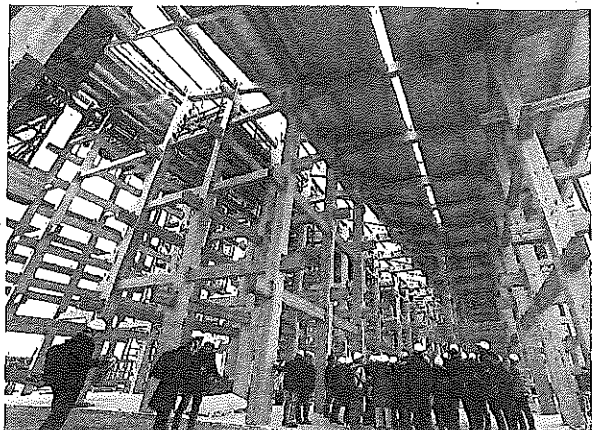
日本は多国間協調に根差し、核兵器の議論に積極的に関わっている。声を上げる特別な役割がある。議長として、禁止条約に加盟する準備ができていない国も参加できる環境を整えたと自負している。

「核兵器の廃絶へ、被爆者や被爆地の市民には何ができますか。

核兵器の使用、実験の生存者の声は、禁止条約を最も力強く支えている。多国間協調では政府が主要な役割を果たすが、変化を生み出すのは人々だ。被爆者や核実験で影響を受けた人たちの証言は代え難く、政策決定者は真剣に耳を傾けてほしい。

## 「世界一高い日傘」初公開

万博象徴 350億円 閉幕后に撤去



報道陣に初めて公開された、2025年大阪・関西万博の木造大屋根の建設現場(27日午後、大阪市)

## 海外館開幕前

日連連合

2025年大阪・関西万博の象徴に位置付けられる木造大屋根「リング」の建設現場が27日、報道陣に初めて公開された。全体の会場整備費は当初の1.9倍となる最大2350億円に膨張。日本国際博覧会協会はうち3

50億円を投じるリングを閉幕后撤去する方針で、「世界一高い日傘」「無駄遣いだ」との批判が出ています。(1面関連)

リングは1周約2キロの環状デッキで、協会はこの日、大阪市の人工島・夢洲で大手ゼネコン「大

## 立民・公明・共産・れいわ 4党が国会議員派遣

核兵器禁止条約の第2回締約国会議に合わせて立憲民主、公明、共産、れいわ新選組の4党は、所属する国会議員を米ニューヨークに派遣した。会議に集う核兵器非保有国の主張を聞くのが主な

目的で、日本政府に条約のオプザーパー参加を求めている各党の立場なども各国に説明する。

立民は福山市出身で被爆2世の塩村文夏参院議員、公明は党核廃絶推進委員長の高谷正明参院議

員、共産は被爆2世の笠井亮衆院議員、れいわは共同代表の柳瀬万里衆院議員が27日までに現地入りした。

締約国会議の会場などで、条約制定を主導したオーストリアやメキシコなどの国々のほか、米国の「核の日」に頼りつつオプザーパー参加するドイツなどの意見を聞く。

各国の国会議員が集まる会合にも出席する。

日本政府は核兵器非保有国の不参加を理由に昨年6月の初回会議に続きオプザーパー参加を見送った。松野博一官房長官は27日の記者会見で、核戦力の透明性向上などを挙げて「効果的な核軍縮措置に向けた取り組みを重ねていく」と述べた。

(樋口浩一)秋

「ニケニ」  
「フィレンツェ」  
「像」  
「伝わる」  
「だけ」  
「家として」  
「価」  
「よ」

「ちりーピーと字ほの」  
「答え」